



# 中央小ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和3年11月26日  
大村市立中央小学校  
発行 石司 貴弘

## 地域ぐるみで子どもを育てる

～ 健全協主催 第1回ウォークラリー大会 ～

23日(火曜日)、中央小学校の運動場に、大人・子どもを合わせて百人を超える参加者が集まりました。暑くも寒くもない、軽い運動をするのにちょうどよい天気にも恵まれました。

中央小学校区青少年健全育成協議会(広島会長)が、ウォークラリー大会を開催してくださいました。仲のよい友達同士や家族単位など、思い思いのメンバーでチームをつくり、全部で32チームが中央小学校周辺のコースを約1時間で楽しみながら歩きました。



### 【中学生が考えた問題】※一部

- Q: 西中・中央小の大時計下の看板にはどんな言葉が書かれていますか?  
 @: 「〇〇〇〇します。わたしから」
- Q: 妻子別れの石で、家族と別れるときに飲み交わされた飲み物とは?  
 ①水 ②酒 ③ジュース
- Q: 大村市の指定文化財であるソテツは、本経寺のどこにあるでしょう?  
 ①大村家墓所の中 ②本堂近く ③門のそば
- Q: 本経寺境内には犬の石像があります。その犬の名前は?  
 @: 華丸(はなまる)

※その他、大人も苦戦する問題もありました。

ウォークラリーは、決められたコースの中で、各チェックポイントにある「大村の歴史や文化に関する問題」を解きながら歩いて行きました。体だけでなく、頭も使う必要があります。ふだん何気なく通り過ぎている場所に、とても興味深い歴史があることにあらためて驚きました。

ところで、この問題をつくるのに知恵を絞ってくれたのが、西大村中学校の生徒さんです。自分たちの足で実際に歩いて情報を集め、小学生にもわかりやすい言葉で問題をつくってくれました。難しすぎても、易しすぎても興味が半減してしまいます。ずいぶん時間をかけてくれたであろうことがよくわかる、考え抜かれた問題でした。

また、チェックポイントには、各町内会長様、民生委員・児童委員の皆様、PTAの役員の皆様が参加者の安全確保、給水やトイレのお世話などでお力添えをしてくださいました。貴重な祝日の時間を、子どもたちが安全に楽しく活動できるように協力してくださることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

○友達や家族と一緒に歩いて気持ちよかった。

○学校の近くに古い出来事のあとを示すものがあり、興味がわいた。

○たくさんの中学生や係の人が、笑顔で声をかけてくれてうれしかった。

参加した小学生の感想から、ウォークラリーを通して「地域の人の温かさ」を感じ取っている様子がわかります。

自分に愛情を向けてくれる人の思いや姿は、心の奥底に残り続けます。子どもにとって、この経験が少なからずこれからの生き方のモデルになると思うのです。

## あいさつします わたしから…



中央小学校の子どもたちは、よくあいさつをします。お隣の西大村中学校の生徒さんの中にも、さわやかな笑顔を添えてあいさつする人がいます。また、各町内会や民生委員・児童委員の方なども子どもたちにお声かけをしてくださいます。中央小学校のまわりには、「あいさつの声」であたたかな雰囲気ができています。

一方で、学校近隣を歩きながら見守ってくださる方から次のような厳しい声を聞くこともあります。

「小学生・中学生はよくあいさつします。でも、どちらかという大人の方がしませんね。こちらからあいさつしても、無視されることもよくあります。一人でも多くの人をあいさつの輪に入れたいです。」

あいさつをしない大人…。もしかしたら、体調が悪かったり、考え事をしていたり、あいさつをしているのだけど、声が届かなかったり…いろいろな事情があるかも知れません。一概に責めることはできないような気もします。

しかし、誰がなんと言おうとやっぱり「あいさつ」ってすてきですよ。

「おはよう」「こんにちは」「また明日ね」「風邪ひかないようにね」

これらは、**私の心は、あなたに向いています。あなたのことを大切に思っています**ということを表しています。学校の中にも、地域全体にもこんな言葉がたくさんあふれると、みんな心穏やかに、幸せに暮らせるようになるかと確信します。

大人が笑顔であいさつを交わし合う姿こそ、子どもにとって何よりのモデルであると思うのです。保護者の皆様、地域の皆様、みんなであいさつを交わし合いましょ。皆様をお願いするからには、石司が真っ先にあいさつを続けていきます。

## 交通事故から 子どもを守りましょう

- ☆決められた道路をって登下校する
- ☆信号や横断歩道など、ルールを守る
- ☆車の動きをよく見て、注意しながら歩く

学校では子どもたちに対して繰り返して話す機会をつくっています。しかし、地域を巡回してみると、自転車利用の約束が守られていなかったり、道路でキックボードに乗ったりなど、危ない場面を目にすることもあります。県民運動をきっかけに、ご家庭でも交通ルールについて話題にさせていただきますようお願いいたします。

事故のない冬休みに向けてみなさんで意識を高める期間にしましょう。よろしくお祈りいたします。